

日 時 : 平成 26 年 4 月 15 日 (火) 18 : 00~20 : 15

場 所 : 建築士会会議室

出席者 : (担当副会長) 長田 喜樹

(委 員 長) 金子 修司 (副委員長) 山成 芳直

(委 員) 加藤 清、加藤 高明、芝 京子、石井 明

欠席者 : (委 員) 村島 正章、嵯峨野 雅彦、長谷川 行彦、永井 香織、菊嶋 秀生

事 務 局 : 須藤事務局長 豊島職員

委員会冒頭、花方会長より理事会で H26 年度事業計画および予算が理事会で承認されたことの報告とお礼を兼ねた挨拶。

- ・財政状況は厳しく、次年度以降の会費値上げについて、検討していただく必要がある。
- ・会費値上げをしない場合、事業および活動を縮小することになり、活動されている方のやる気を削ぐ可能性がある。来月 5 月の通常総会では、会費値上げが避けられないことを訴えたい。

#### <確認事項>

##### 1 前回(3/11)議事録の確認【資料 1】

○メールリストで事前送付済みであり、加除等があれば事務局に連絡いただくものとして承認された。

#### <協議事項>

##### 1 平成 25 年度 総務企画委員会事業報告(案)について【資料 2】

##### 2 平成 25 年度 総務企画委員会決算(案)について【資料 3】

1、2 ともに事務局より説明し、異議なく承認された。

##### 3 「建築士会のあり方及び会員増強」検討委員会について【資料 4】

担当副会長より説明された。

- ・資料には(一社)日本建築学会長より会員宛てに出された会費納入のお礼メールを付けた。このような会長自らの発信は、士会でも SALON 等の紙媒体や集まりの際の挨拶で行っているが、メールによる発信も一考に値するので情報提供する。

#### 【質疑応答】

委員) 士会にメールアドレスを登録している方の人数はどのくらいか。

事務局) メールマガジン登録をしている方は会員の約 1/2。

委員) 会員情報としてメールアドレスを開示している方はどのくらいか。

事務局) 会員の約 2/3 です。

委員長) 会費値上げをする前段階として、このような会長の生の声をメールで発信してもよいのではないか。実施する場合の所管はいかがか。

担当副会長) 正副会長と事務局での調整に一任で、よいのではないか。

委員長) 是非実現できるように準備をお願いしたい。  
担当副会長) 入会促進や値上げの際には、退会理由等のデータが求められるので、事務局で引き続き精査いただきたい。

#### 4 平成 26 年度の委員会の年間活動計画案【資料 5】

担当副会長より会費値上げを前提とした場合のスケジュールを中心に説明。

・平成 27 年度の 5 月総会で値上げが議決された後の対応として、値上げ実施時期を平成 28 年度からか、平成 27 年度からとするかの問題がある。後者の場合、値上げ承認後の 6 月以降に追加払いを要請することになるのだろうが、どちらにするかは予め見定める必要がある。

#### 【質疑応答】

委員長) 目下の財政事情から見れば、1 年インターバルを置くよりは、議決後、直ちに追加払いをお願いするほうが良い。

委員) 事務処理の手間や会員の反応を想定しても追加払いに実現性があれば、その方がよい。

委員) 追加払いをお願いする前提に立てば、はじめから値上げを議決する年度の会費請求タイミングを例年の 4 月ではなく議決後の 6 月とし、4~5 月分も値上げ後の額として年会費を請求できれば、事務手間・納入手間が省けるが。

担当副会長) たしかに、他団体では、値上げ実施年度のみ会費請求を 2 ヶ月遅らせた例がある。一方、値上げ実施は議決の翌年度とし、さらに「財政状況が好転したら実施は一年先延ばしとします」と慎重に進めている団体もある。

委員) 銀行引落しの会員について、額や納入月の変更の手続きはどうなるのか。本人も含めて改めて、自動引き落としの契約をやり直しする必要があるのか。

事務局) 必要はないと思う。なお、前回の会費値上げは H10 年度だったが、その時は 8 月に追加払いをお願いしたようだ。

副委員長) 支部長としての立場から言えば、支部長・委員長会議等での調整で合意形成が図れたとするのは無理がある。パブコメや支部・委員会への文書アンケートを実施するスケジュールがクリティカルパスであり、そこでの意見も踏まえて最終決定すると想定した方がよい。

担当副会長) なお、定款改正の際にもパブコメを実施したが、実際にコメントがあったのは数人である。意見の項目数は多かったが。

参考までに、他団体では若い会員の会費を低額にしたり、逆に理事等の役員の会費を若干高めにしている例がある。また、高齢会員への割引を行っている例も多いが、先に 10 年分の会費の一括納付を促し、以後の会費納入不要の終身会員とする例もある。

委員長) 銀行引落しの会員数はどのくらいか。

事務局) 全体の 10% 強。

委員) 参考までに、事務所協会の支部では会費自動引き落としは義務化されている。

委員) 引落しの場合も手数料負担がネックとなる。また、残高不足で引落し不能となり事務処理が煩雑となる例もあり万能ではない。いずれにせよ手数料負担の軽減に関して、銀行や郵便局に話をつける、あるいは、コンビニ振込みの導入も検討するなど、値上げに伴う会員の納入手間軽減等のサービスも考える必要がある。

委員) 委員会等の活動をされていない一般会員には、値上げ論議に触れる機会がない。いきなりパブコメを実施する前に、一般会員向けの説明・予告が必要である。  
委員長) 当委員会としては、値上げを前提として議論するものとした。値上げ額についてもイメージしていきたい。

委員) 新入会員の場合、入会月からの月割が適用される。それを考慮すれば値上げ幅は、月当たり 250 円アップ、年額 3 千円アップを単位とするのが妥当ではないか。

委員) 額をいくりにするかは、値上げ後の収支シミュレーションも提示しないと説得力がない。

⇒ 額については引き続き検討するものとした。

担当副会長) なお、最近、大口のバナー広告を獲得したと聞く。事務局の自助努力を多とするが、今後も積極的な取り組みをお願いしたい。

#### 5 U 常任理事の提案第 2 弾に対する対応【資料 6】

担当副会長より、提案概要の紹介と、提案のうち来年度役員改選を見据えて、「役員選出規程の検討」を優先課題としたい等の説明。

##### 【質疑応答】

委員) 総会での議長は会長でない方が良いという意見には賛成。会長として意見を述べることは当然あることですが、進行を務める議長は他の方のほうがよいと思う。

委員長) 会費値上げの議論をすることを考慮すれば、その方が良い。

#### 6 賛助会小委員会企画講習会について【資料 7】

事務局より、担当委員から今年度の企画として「K 技術研究所見学会」の情報提供をいただいた旨を報告。

⇒ 企画を是とし、今後、賛助会小委員会で日程等を検討することとした。

### < 報告事項 >

#### 1 第 342 回 理事会 開催結果について【資料 8】

事務局より報告。

#### 2 平成 26 年度 二級・木造建築士試験 受験申込者数について【資料 9】

事務局より報告。

### ○その他

・連合会へ、もっと直接的・積極的に物申していくような姿勢を期待したい。

⇒ 仕組み上、連合会執行部への申し入れ等は、関プロを介して行うことになっている。本会は連合会の言いなりというより、むしろ積極的に物申している方だ。

次回は平成 26 年 5 月 20 日(火) 午後 6 時からの開催です。